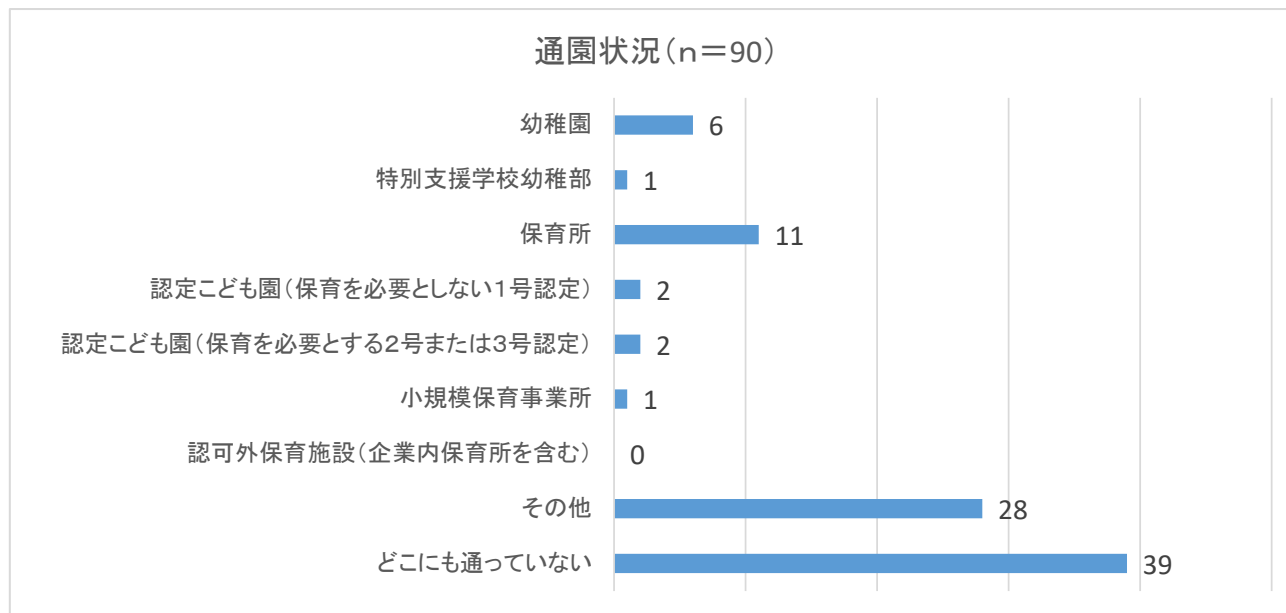


3 保育・学校教育等について

問1 未就学児の方に伺います。(該当しない方は回答不要です。)現在の通園状況について、当てはまるもの全てにチェックを付け、通園日数を記入してください。

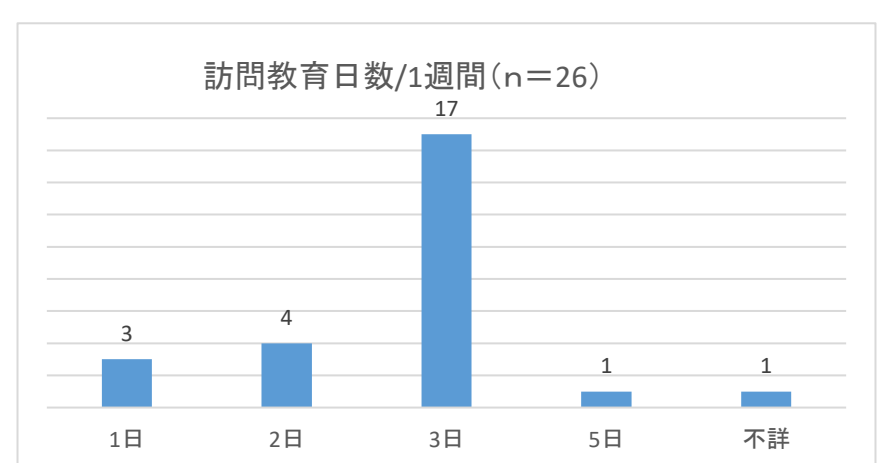
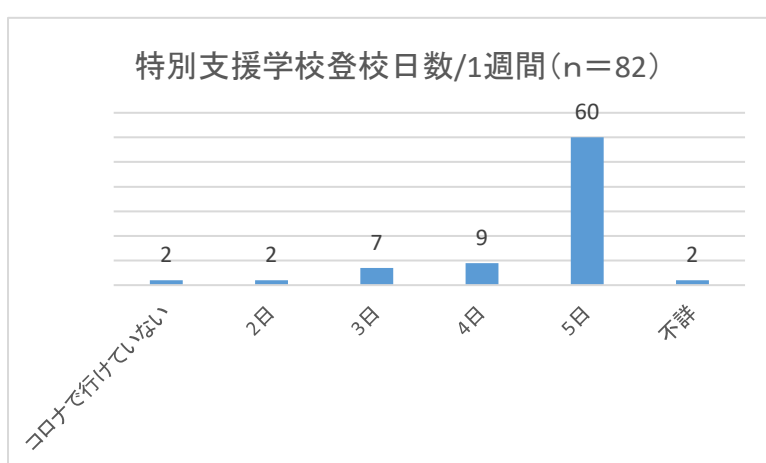
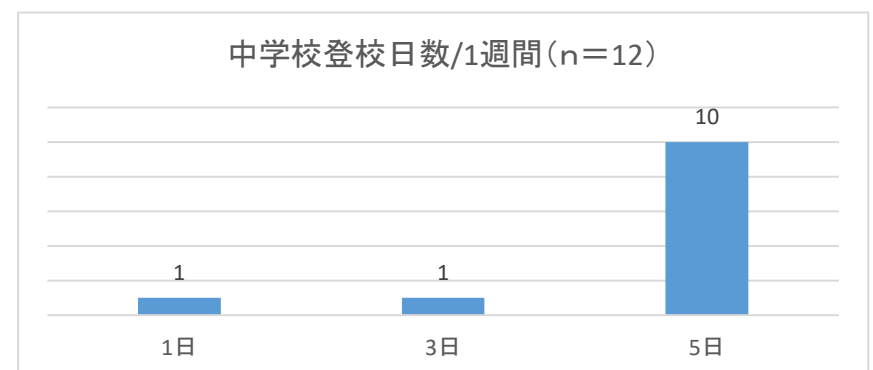
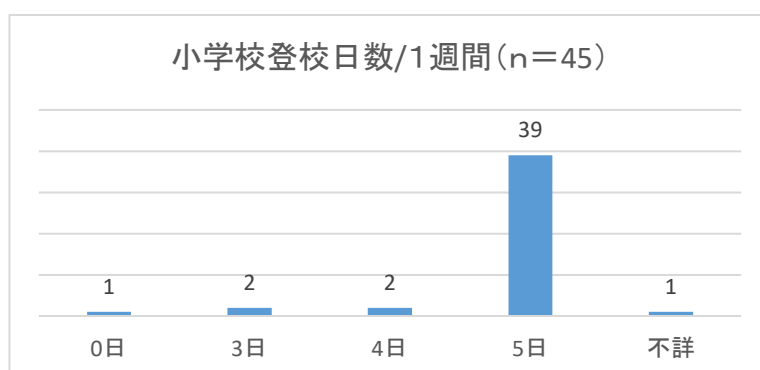
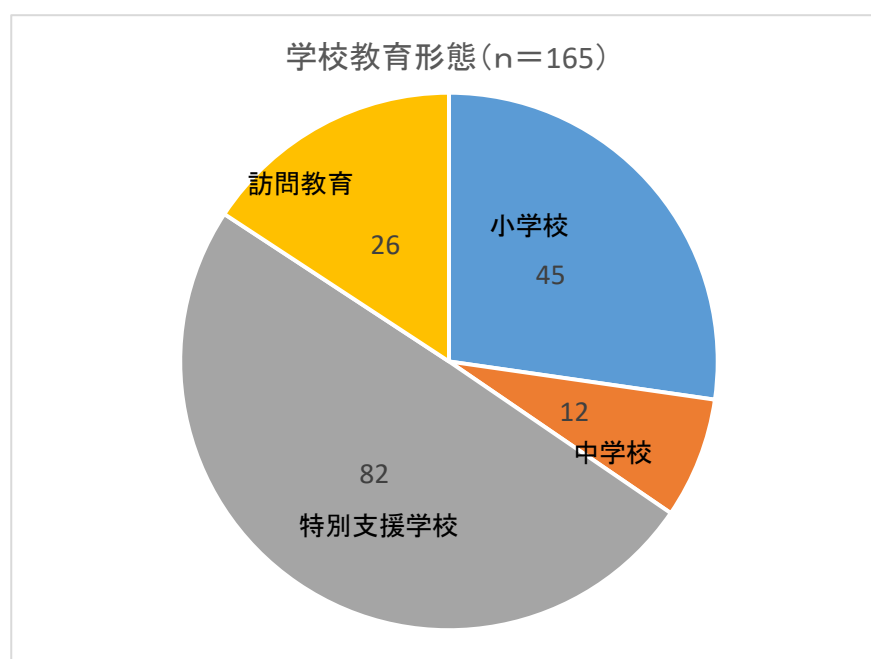
通園状況で1番多かったのが「どこにも通っていない」39人(43.3%), 2番目が「その他」で28人(31.1%), 3番目が「保育所」で11人(12.2%)であった。



その他の通園先(抜粋)
 ・こども療育支援センター
 ・デイサービス
 ・児童発達支援センター(医療型含む)
 ・重症心身障害児療育施設
 ・訪問療育

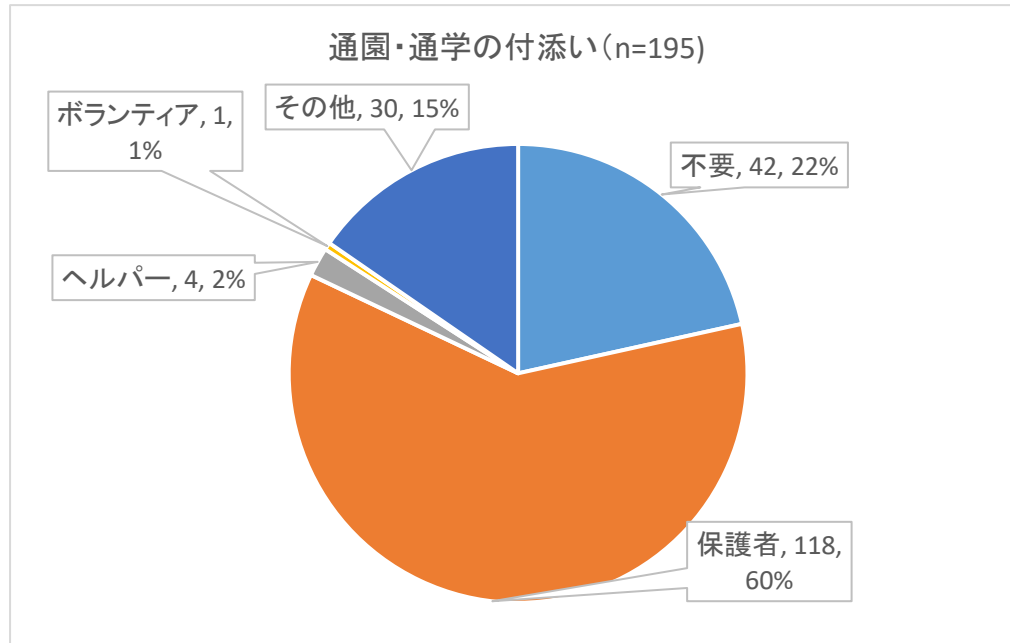
問2 現在, 学校教育を受けている方にうかがいます。(該当しない方は回答不要です。)現在受けている教育形態について、当てはまるもの全てにチェックを付け、登校日数を記入してください。

学校の教育形態で1番多かったのが「特別支援学校」82人(49.7%), 2番目が「小学校」で45人(27.3%), 3番目が「訪問教育」で26人(15.8%)であった。



問3-1 現在、通園や通学をしている方にうかがいます。(該当しない方は回答不要)通園・通学中は誰が付き添いますか。当てはまるもの全てにチェックを付けてください。

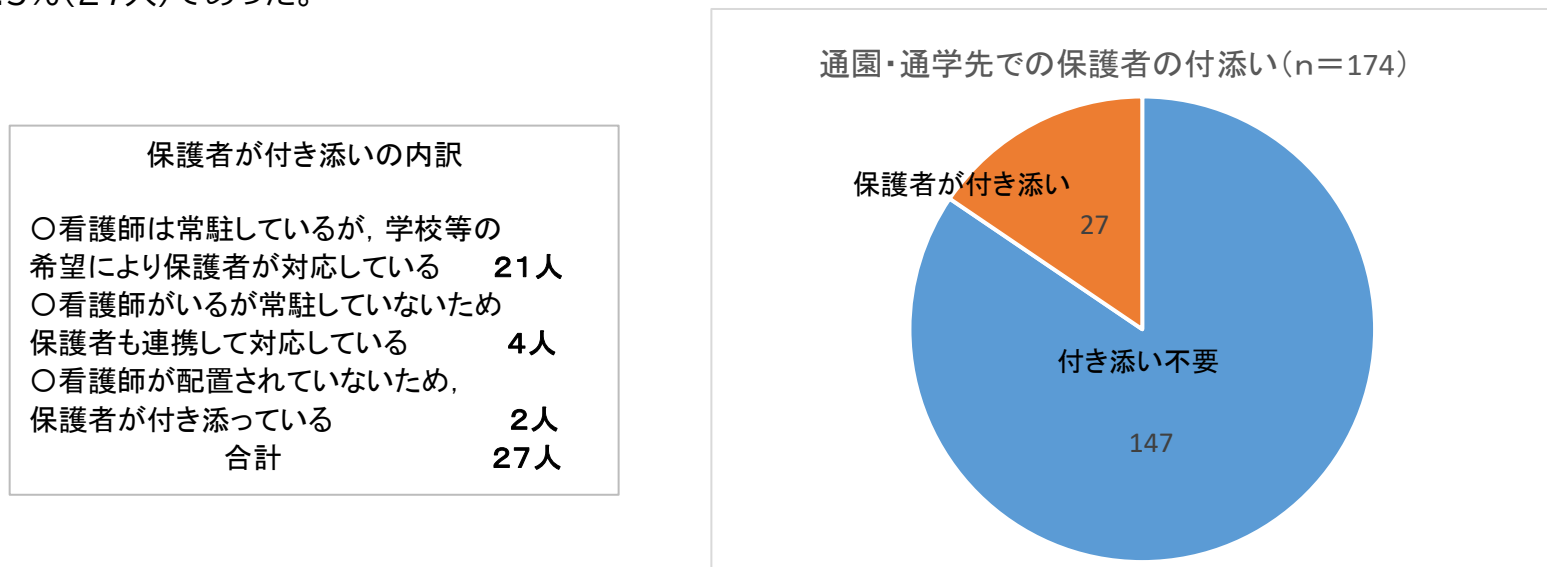
118人(60.5%)の保護者が通園通学に付き添っている。



その他(抜粋)
加配看護師 兄弟 スクールバス
親子通園の日は保護者が付き添います。
看護師 介助員 学校看護師
学校が雇っているバスの介助員さん
保護者付き添いはスクールバスのバス停まで
祖母 先生 担任 療養施設職員
付き添いは不要だが、1日2回吸引に行く。
登校班まで送る、1人は本人の不安が強いため、帰日も1人の時はお迎え
バス停まで保護者、それからはスクールタクシーを利用 導尿時2回/日

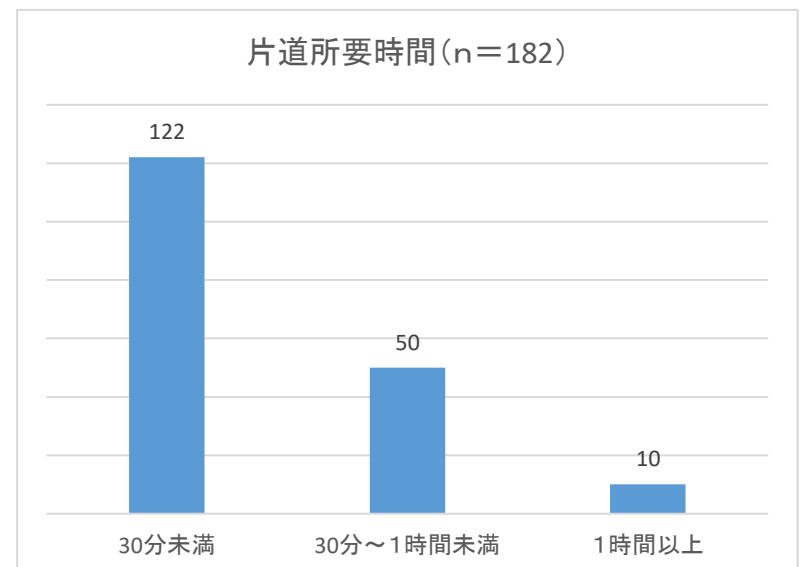
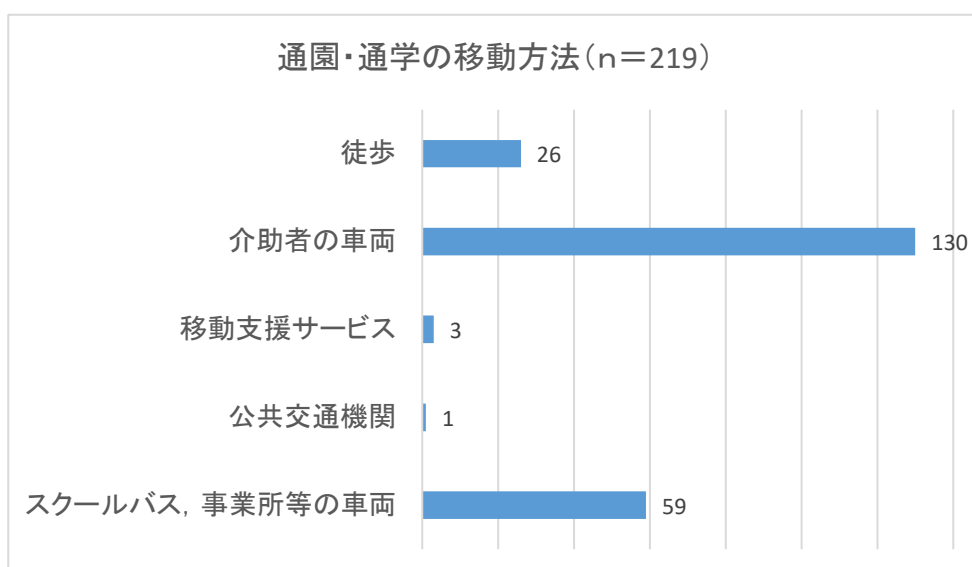
問3-2 現在、通園や通学をしている方にうかがいます。(該当しない方は回答不要)通園・通学先で過ごす際に保護者の付添いは必要ですか。必要な場合はその理由について当てはまるもの全てにチェックを付けてください。

学校等での保護者の付き添いで1番多かったのが「付き添い不要」147人(84.5%)、2番目が「看護師は常駐しているが、学校等の希望により保護者が対応」で21人(12.1%)、3番目が「看護師がいるが常駐していないため、保護者も連携して対応」で4人(2.3%)、4番目が「看護師が配置されていないため、保護者が付き添っている」が2人(1.1%)であった。結果、保護者が何らかに対応している割合は15.5%(27人)であった。



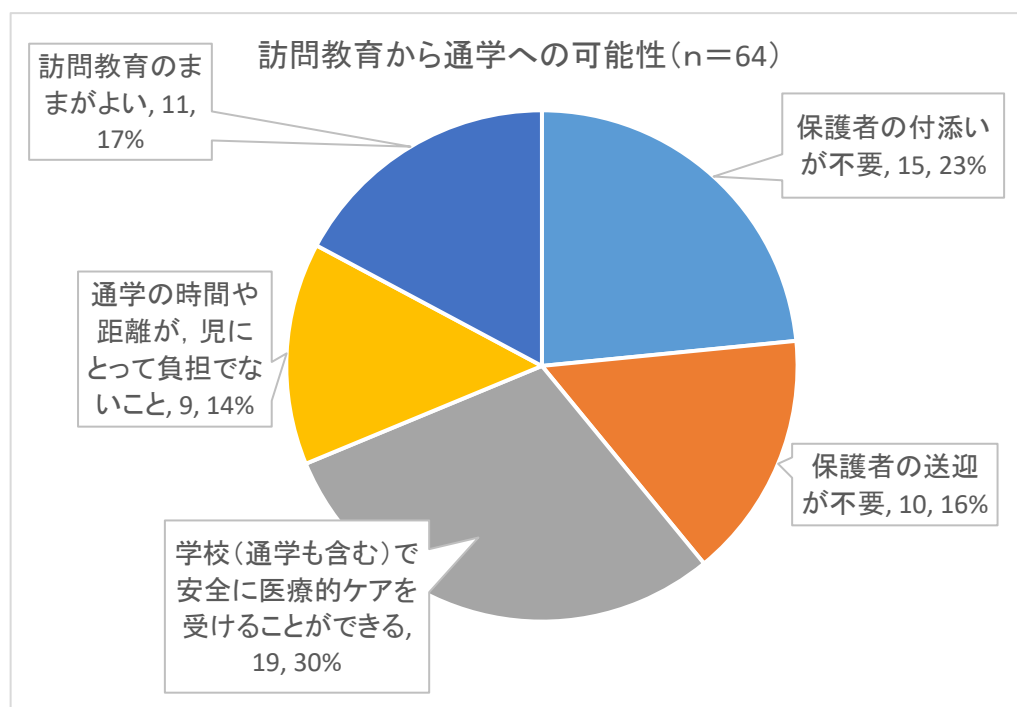
問3-3 現在、通園や通学をしている方にうかがいます。通園・通学先への移動の方法は何ですか。また自宅を出発後、通園・通学先へ到着するまでの所要時間は片道平均どれくらいですか。当てはまるものにチェックを付けてください。

学校への移動方法で1番多かったのが「介助者の車両」130人(59.4%)、2番目が「スクールバスや事業所等の車両」で59人(26.9%)、3番目が「徒歩」で26人(11.9%)であった。片道所要時間は30分未満が122人(67.0%)で1番多かった。



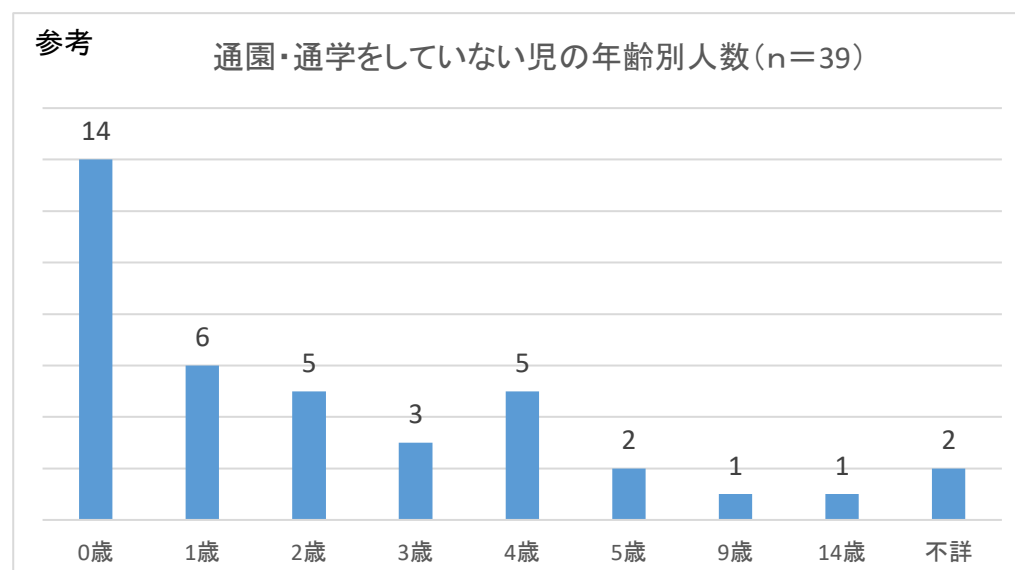
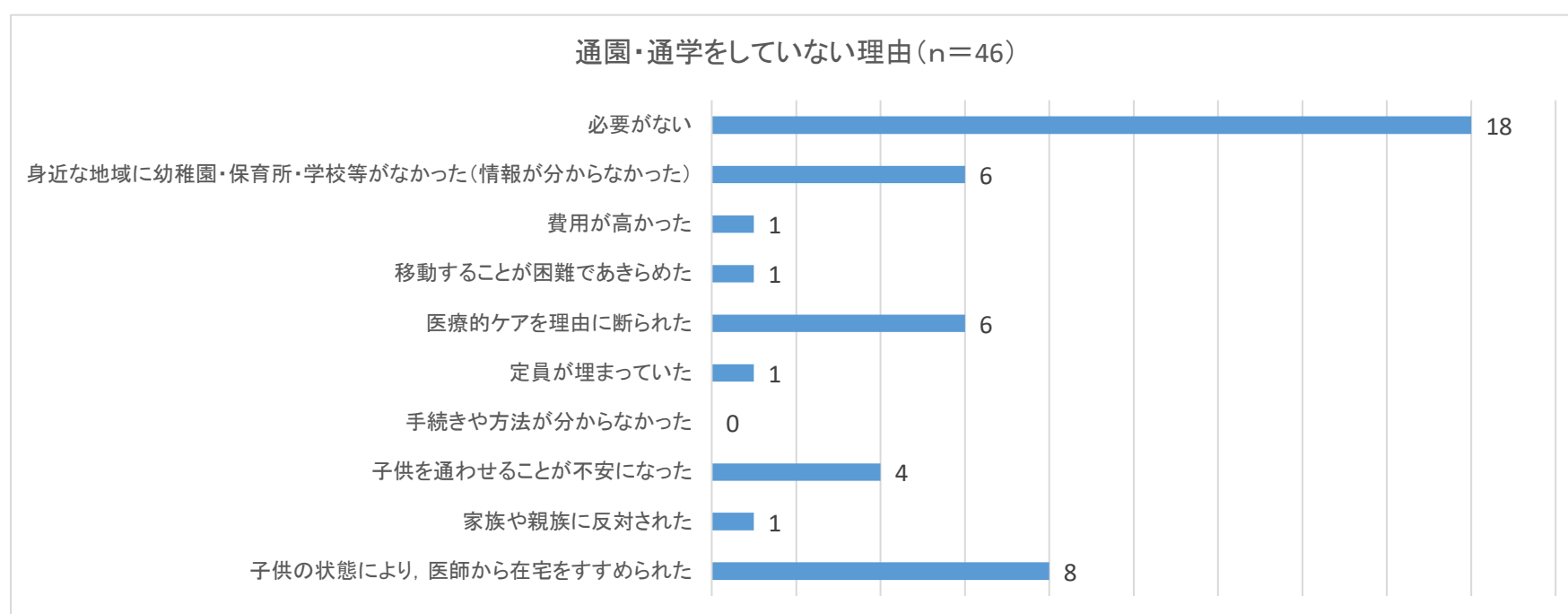
問3-4 現在, 訪問教育(家庭)を受けている方にうかがいます。どのような条件があれば通学可能ですか。当てはまるもの全てにチェックを付けてください。

訪問教育を受けている保護者は、「学校(通学も含む)で安全に医療的ケアを受けることができれば通学可能」が1番多く19人(29.7%), 2番目が「保護者の付添い不要」で15人(23.4%), 3番目が「訪問教育(家庭)のままがよい」で11人(17.2%)であった。



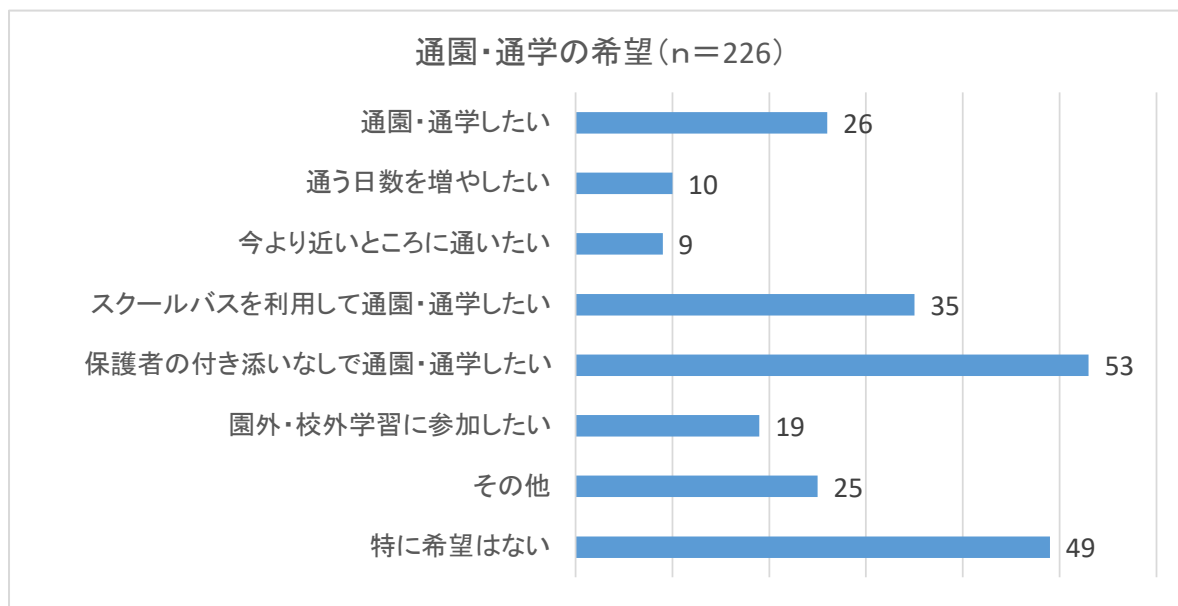
問4 現在, どこにも通っていない方にうかがいます。通園・通学をしていない理由は何ですか。当てはまるもの全てにチェックを付けてください。

どこにも通っていない方の通園・通学をしていない理由は「必要がない」が1番多く18人(39.1%), 2番目が「子どもの状態により医師から在宅をすすめられた」で8人(17.4%), 3番目が「身近な地域に幼稚園・保育所・学校等がなかった」と「医療的ケアを理由に断られた」で6人(13.0%)であった。



問5 通園・通学に関する希望があれば、当てはまるもの全てにチェックを付けてください。

23.5%(53人)の「保護者が付き添いなしで学校生活を送って欲しい」と希望している。2番目が「特に希望なし」で49人(21.7%), 3番目が「スクールバスを利用して通園・通学したい」で35人(15.5%)であった。

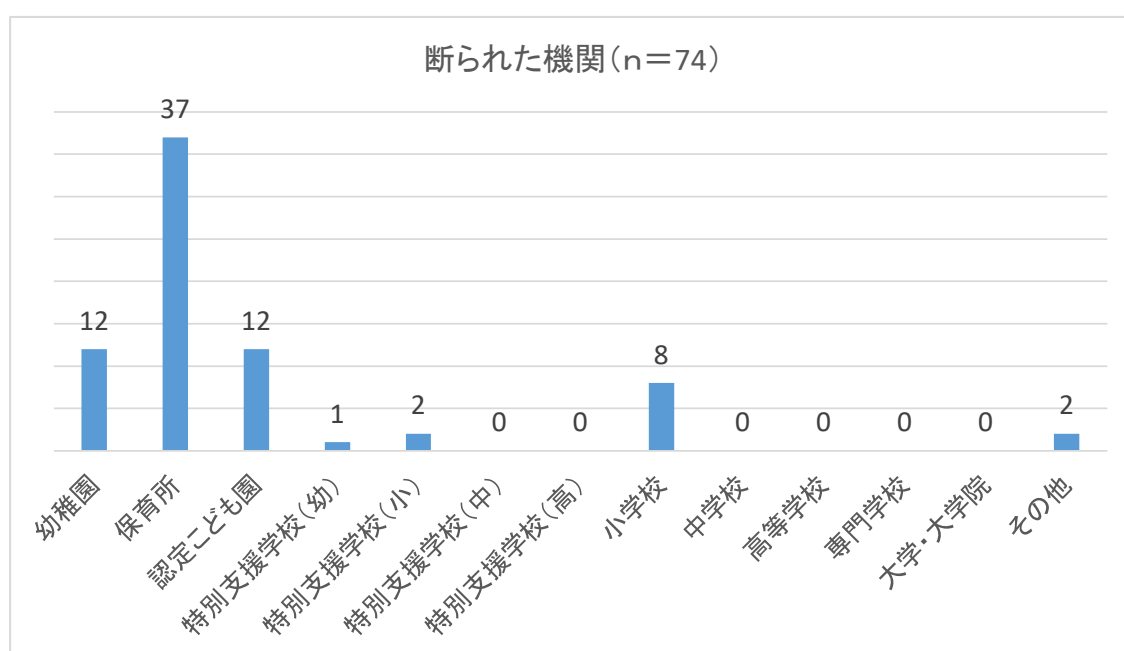


その他について(抜粋)

- コロナでスクールバスが利用できなくなっているのを、利用できるように早くなってほしい。
- 子どもの身体機能等が通園可能となるまで回復すれば検討したい。 ○希望する時に受け入れてもらいたい。
- 医ケアの制限が多すぎる。 ○修学旅行など保護者の付き添いなしでさせてほしい。 ○バス停を近くにして欲しい。
- スクールバスを利用しているが何かあったとき(てんかん発作など)に他の子に迷惑をかけるので、別にするとかタクシー利用を認めるなどの配慮をしてほしい。 ○特別支援学校の看護師さんを増やしてほしい。 ○保育園の一時預かり。
- 卒業アルバムがほしい。注入量変更がむずかしい。 ○校内での保護者と先生たちとの懇談会をしてほしい。
- 通学日数が少ないが主治医の指示も有り、無理の無い範囲で今迄どおり通学したい。
- スクールバスに看護師を乗車してほしい。緊急時対応(事故渋滞時の水分補給など)
- 送迎補助が少なすぎる(ガソリン代, 親の送迎時間代) ○私立の幼稚園でも看護師を配置してほしい。
- 医療的ケア児も延長保育を受けさせて欲しい。 ○通学に移動支援を適用して欲しい。
- 訪問教育の生徒のみ、コロナ感染予防のために登校(スクーリング)ができないので医師の許可があれば登校可能にしてほしい。
- 校外学習等(近所や遠足など)付き添いなしでやってもらいたい。 ○通常級の子達と過ごす時間を増やしたい。
- 保護者の送迎の交通費支給希望。医療ケア児の移動支援サービス利用を可能にして欲しい。
- 学校が9時からでスクールバスを利用したいが、利用すると仕事に間に合わなくなるため利用ができない。

問5(9) 医療的ケアが必要なことで入園・入学を断られたことがある機関

断られたのは、「保育所」が1番多く37人(50.0%), 2番目が「幼稚園」と「認定こども園」で12人(16.2%), 3番目が「小学校」で8人(10.8%)であった。



その他(抜粋)
○療育・児童発達支援センター

問6 学校教育について感じていることなど、自由にお書きください。

有効回答者のうち117人(41.8%)から、項目別に合計182件の記述があった。
記述回答者のうち25.6%の方の「学校や保育所等の受け入れ態勢が不十分である」が最も多く、次に18.8%の方の「学校や園等の行事、通学への付き添いの負担が大きい」、17.9%の「学校や園での対応に感謝している」、10.3%の方が「通学支援の充実(スクールバスに看護師の配置)」、「今後の進路への不安、将来への不安」などの記述があった。

記述回答件数	117
有効回答数(n=280)に対する記述回答件数の割合	41.8%

項目分類別件数	件数	回答件数に対する割合
学校や保育所等の受け入れ態勢が不十分である。学校での話の進め方が不満	30	25.6%
学校や園等の行事、通学への付き添いの負担が大きい。付き添いをなくして欲しい。	22	18.8%
学校や園での対応に感謝、満足している。	21	17.9%
通学支援の充実(スクールバスに看護師の配置等)	12	10.3%
今後の進路への不安、将来への不安	12	10.3%
学校に通学したかったが諦めた。障害があっても希望の園や学校に行きたい。	11	9.4%
個々に応じた対応がなされない、柔軟性が不十分である。	11	9.4%
配置されている看護師の人数、ケア対応が不十分である。	9	7.7%
教職員や看護師の対応に感謝	9	7.7%
教職員が医療ケアの知識・技術をもっと勉強してほしい。子ども扱いされているように感じる(人権を考えてほしい。)学校看護師の研修も必要	8	6.8%
学校への付き添い等で保護者の就労ができない。	7	6.0%
どこの誰に相談すればいいのかわからない。(福祉サービス情報、動ける医療的ケア児)、通える園を探すのが大変。保護者との情報交流、アドバイスが欲しい。	6	5.1%
都道府県、市町、学校によって対応が異なる。	4	3.4%
預けられる保育所があってほしい。近くの保育所に預けたい。	3	2.6%
特支が自宅から遠すぎて通学が負担、近くの学校に行きたかった。	3	2.6%
行政の対応、取組が不十分である。制度について詳しく教えてほしい。	3	2.6%
費用負担が大きい。(校外学習、生活用品等)	3	2.6%
就学や通園について早い段階で相談したい。	2	1.7%
給食、園や学校内での食事の摂取方法への不安や要望	2	1.7%
親任せの部分が多すぎる。親頼みでなく学校での支援も考えて欲しい。	2	1.7%
その他(地域との交流は大事。保育園の負担が大きく加配をつけるべき。各1件)	2	1.7%
合計(コメント1件に複数の項目を含む)	182	

【抜粋】(3件/117件)

○人工呼吸器がついていたり、医療的ケアが高度であれば通学のハードルはグンと高くなり、学校には通学したかったが、諦める事になった。高度な医療的ケアがあっても当たり前前に社会の中で生活でき、学校生活が送れるよう願っております。

○医療ケアが必要な子供は、よく入院したり、手術、リハビリ等が多く、学校を欠席しながらなんとか生命を維持しています。しかし、加配の条件であったり、看護師の配置体制であったり、その子なりに学校に行きたいのに体制が整っていないので登校できなかったりします。学校教育を受ける為には、医療ケア児は、整った体制がないといけないと感じています。こうやって声を上げて体制が少しでも整っていく事を願います。

○看護師の配置人数を増やしてほしい。(特支から入学してから付き添いを言われ、更に学校の都合で付き添い延期を言われて、決まっていた仕事をあきらめた。入学前に伝えて欲しい。)